

# ACP 普及促進専門委員会

(令和4年度)

## ACP 普及促進専門委員会報告書

広島県地域保健対策協議会 ACP 普及促進専門委員会

委員長 本家 好文

### I. はじめに

平成25年度に広島県地域保健対策協議会（地対協）に「終末期医療のあり方検討特別委員会」が発足し、「アドバンス・ケア・プランニング（ACP）の普及」を目標に取り組んできた。

平成29年度からは、在宅医療・介護連携推進専門委員会「ACP普及促進WG」として活動を継続した。

さらに令和3年度からは、「ACP普及促進専門委員会」として普及に取り組んでいる結果について報告する。

### II. 委員会、研修会、打合せ会の開催について

◎打合せ会（令和4年5月18日）の協議内容

- (1) 令和3年度第2回ACP普及促進専門委員会書面開催の結果
- (2) 令和4年度広島県ACP普及推進員フォローアップ研修会
- (3) 啓発用ポスターの改訂
- (4) 今後のACP普及促進専門委員会のあり方

◎第1回ACP普及促進専門委員会（令和4年9月12日）

報告事項：

- (1) 令和3年度第2回ACP普及促進専門委員会書面会議  
「ACP普及推進員フォローアップ研修」の実施に関する意見  
「在宅医療の啓発ツールの充実」に関する意見  
「専門委員会から広島県に対する要望」について報告
- (2) 福祉・介護業界の情報誌「Gentle」への広告掲載  
広島県より福祉・介護業界情報誌「Gentle」の広告ページを活用してACPの啓発記事を掲

載したとの報告

- (3) 11月30日（人生会議の日）に向けた市町へのデータ活用状況  
広島県が作成したACP普及啓発用のイラストとデータの提供。  
11月30日「人生会議の日」に向けて、市町民だよりや広報誌、ホームページの活用について報告。

協議事項：

- (1) アンケートの実施

平成30年度に第3版として改訂された「ACPの手引き」「私の心づもり」は、人生会議のロゴマークの追加など限られた変更を加えただけであり、実際に使用した人の感想や修正などについて確認する機会がなかった。

令和5年度は、実際に使用した人や研修で使用した人からの要望を聞くためにアンケート調査を実施し、必要に応じて「ACPの手引き」「私の心づもり」の改訂を行う。

アンケート調査は実際に使用した人を対象とした一般用と、研修や医療機関等で使用した研修主催者用（申請者用）の2種類を作成することが提案された。

委員からの意見として、「自由記載」でない簡便な「回答様式」にして回答しやすくする工夫が必要との意見があった。また回答者の属性、QRコードを用いた回答様式についても提案があった。

- (2) ACPの啓発用ツール

これまで使用してきたACP啓発用ポスター（達川光男氏出演）は令和3年度末で契約を終了した。今後の啓発方法に関する委員からの意見として、実際にACPを行なっても地域で共有するのが困難との課題が示された。

啓発方法については、専門職の理解度に関する資料を県民に示し、県民に対して「専門職と一緒に考えてみませんか」という様なきっかけ作りが重要との意見があった。

実際に「ACPの手引き」を手に取った人が、どのように活用しているかについては不明な状況である。現時点ではACPのことを知ってもらうことを主な目的として運用している。

具体的な運用については各地域の中で話し合いを進めることが重要との認識を共有した。

(3) 令和4年度広島県 ACP 普及推進員フォローアップ研修

令和2年度、令和3年度に広島県が実施した「ACP 普及推進員養成研修」で、それぞれ84名、100名が研修を終了した。令和4年度には研修修了者184名を対象として「フォローアップ研修会」を開催する予定が報告された。

(4) ACP 普及推進員の活動を支援するための啓発ツール

広島県から普及推進員の活動について、市町によって温度差が見られることから、今後さらに活動を促進するために、推進活動の啓発や推進員が使用する啓発ルールについて検討することが報告された。

◎広島県 ACP 普及推進員フォローアップ研修会  
(令和5年1月15日)

(1) フォローアップ研修会のプログラム

新型コロナウイルス感染症の影響を考慮して ZOOM によるオンライン開催とした。広島県が令和2年度と令和3年度に実施した「ACP 普及推進員養成研修」を終了した184名のうち、90名がフォローアップ研修会に参加した。プログラムを図1に示す。

(2) 研修終了後のアンケート結果 (図2)

90名の参加者のうち49名からアンケートが寄せられた。日常業務が多忙でなかなか取り組めないことや、チーム内の他職種の理解が十分でないとの課題や、実際にACPをはじめめるタイミングが難しいという意見もあった。フォローアップ研修会や情報交換会の開催については、講義形式だけでなく、対面方式や実践研修での開催を希望する意見もあった。

Ⅲ. お わ り に

令和4年3月、厚生労働省が「人生会議」(ACP: アドバンスケアプランニング)を一般国民向けに理解を深める取り組みとして「人生会議」のホームページが開設された。ホームページでは人生会議を理解するためのツールとして「著名人」や「アニメ」

令和4年度 広島県 ACP 普及推進員フォローアップ研修について

実施日時:令和5年1月15日(日) 9:30~12:00

研修方法:ZOOMによるオンライン開催 受講者数:90名

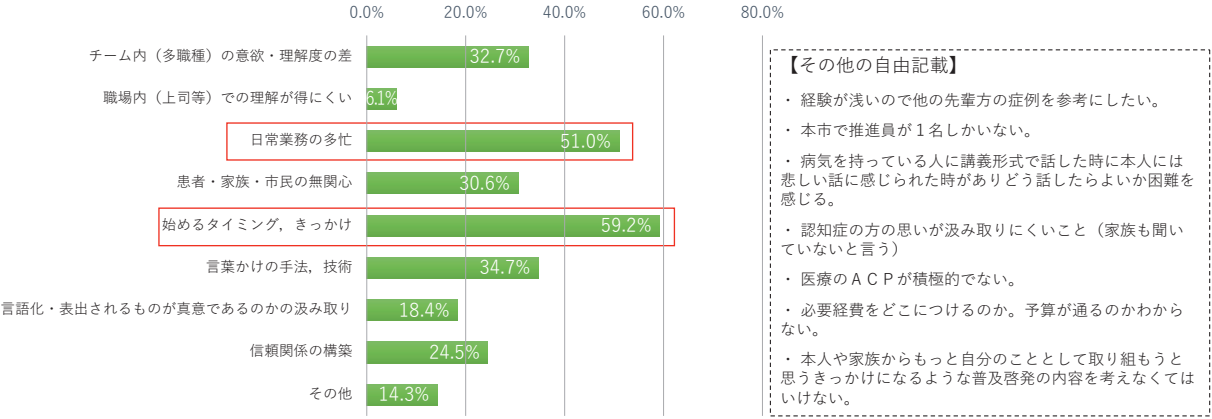
45分	<p>■講演「0歳から100歳超えて、穏やかに暮らすケアを言葉にするACP」 Chiyomi Kubota Care 研究所 代表 エンドオブライフ・ケア協会 理事 久保田 千代美 氏</p>	<p>★本人や家族に寄り添った意思決定支援に関する講義 ★クリニックにおける実践事例の発表 ★ACPを一般住民に前向きに伝えるコツなど</p>
15分	<p>■グループワーク①「胃ろういろいろものがたり」</p>	
10分	<p>■ACP普及推進員による事例発表1 「ACPを行いながら自宅で看取れた事例」</p>	
10分	<p>■ACP普及推進員による事例発表2 「一般住民を対象とした普及啓発活動のコツ」</p>	
45分	<p>■グループワーク②「わたしにもできることがある」 発表・質疑応答</p>	
5分	<p>■まとめ 広島県地域保健対策協議会 ACP普及促進専門委員会 委員長 本家 好文医師</p>	

出所: 令和4年度広島県 ACP 普及推進員フォローアップ研修プログラム

図1 研修会プログラム

研修開催後 アンケート実施 49名（回収率54.4%）

Q 実践する上で困難と感じる点について教えてください（複数選択可）



出所:令和4年度広島県ACP普及推進員フォローアップ研修アンケートから一部抜粋 1

図2 研修後アンケート

などを用いた動画も掲載されている。

今後、広島県内で実施する地域の研修会，病院や職種ごとの研修会，患者家族との話し合いの場などで活用するように周知していく必要がある。

また医療・介護専門職を対象とした厚生労働省委託事業「人生の最終段階における医療・ケア体制整備事業」として「本人の意向を尊重した意思決定のための相談員研修会」は令和5年度も開催される予定である。

ACPの重要性が認識され、普及に向けた取り組み

も盛んに実施されている。がん診療においても、救急医療の場でも、広くACPの必要性が唱えられるようになってきている。平成25年度から広島県地対協がめざしてきた「ACPを地域の文化にする」という目標のためにも、引き続き地道な活動を継続していく予定である。

「ACPの手引き」の配布状況（令和4年3月31日時点）  
（資料1）

## ACPの手引きの配布状況について

バージョン	所在	件数	部数
第1版	県内	74	13,122
	県外	3	350
	合計	77	13,472
速報付録①		6,579	6,600
速報付録②		6,623	6,600
総配布数		13,279	26,672
第2版	県内	321	51,528
	県外	58	2,834
	合計	379	54,362
速報付録③		6,692	6,700
総配布数		7,071	61,062
第3版 (3/31時点)	県内	516	108,947
	県外	18	3,030
	合計	534	111,977
速報付録④		6,880	6,900
総配布数		7,414	118,877
総数			206,611

2023.03.31現在

広島県地域保健対策協議会 ACP 普及促進専門委員会

委員長	本家 好文	広島県健康福祉局健康づくり推進課
委員	石村 泰宏	広島県健康福祉局健康づくり推進課
	魚谷 啓	広島県医師会
	沖政 盛治	広島市東区医師会
	落久保裕之	広島県医師会
	倉田 明子	広島大学病院 精神科・緩和ケアセンター
	越部 恵美	広島県介護支援専門員協会
	小山 峰志	広島県地域包括・在宅介護支援センター協議会
	近村美由紀	広島県訪問看護ステーション協議会
	道法 和恵	広島県看護協会訪問看護ステーション「こい」
	遠山 郁也	広島市健康福祉局保健部医療政策課
	戸谷 誠二	庄原市医師会
	藤原 雅親	東広島地区医師会
	増廣 典子	広島県健康福祉局地域共生社会推進課
	松浦 将浩	安芸地区医師会
	松田 貴志	広島市健康福祉局高齢福祉部地域包括ケア推進課
	丸山 典良	まるやまホームクリニック